



第426号 2008年7月8日
 都庁職衛生局支部
 発行責任者：小野塚 洋行
 TEL03-5320-7412 FAX03-3349-1502
 Email info@eiseikyoku-shibu.com
 ホームページ http://www.eiseikyoku-shibu.com/index.html

今年度から稼動した「健康管理システム」では健診受診率が低下しかねない。 変更内容の周知徹底と、管理監督者の責任での受診確認の徹底を。

今年度から「健康管理システム」が稼動し、職員健診の申し込み等が昨年までと大きく変わりました。

しかし、説明が不十分であり、申し込み方法をはじめ、様々なトラブルが生じています。

職員「希望検診」の実施に関する要請書を提出

特に、乳がん・子宮がん健診は申し込み期間が非常に短かつたうえに、今までできていた健診機関の選択ができないなどの問題が生じており、組合員からも不満の声が多く寄せられています。毎年同じ機関を受診し、経過観察や指導を受けている職員が少なくないなか、年度ごとに受診機関が違えば、これまでの検診データは生かされず、見落とすこと。2. 検診機関について、委託機関が決定した段階で、昨年と同様に職員が選択できるようにすることも働きかけること。」をまとめてきました。

また、都庁職へも、前述の要求と合わせて、TAI MS端末のある職員と無い職員、また各職場・事業所によって生じている問題が違いため、実態を調査し改



「八王子小児病院を守る会」結成総会開かれる

八王子小児病院を守る会準備会は、6月21日(土)「小児医療シンポジウム」と「守る会結成総会」の集會を市内で開催しました。

患者・家族や、地域住民など52人が参加し、2テレビ局と3新聞社の取材もあり、後日それぞれに報道されました。衛生局支部からは、森越副支部長、石井書記次長が参加しました。

集會ではまず5月8日に3つの小児病院を守る会が合同で行った都知事要請と、15日の統一宣伝の様相を報じたMXTVのビデオを視聴し、会の代表が経過報告。シンポジウムでは、八王子で開業されている山田真小児科医師が「医療崩壊」時代と八王子小児

奥多摩ますつり大会

日時 2008年8月23日(土) 現地10時集合
 場所 奥多摩大丹波川国際ます釣場
 (川井駅下車 徒歩25分)
 立川発8:20
 - 青梅乗換え 川井駅9:22着
 バス便9:27発 この便のみ

会費 大人 1,000円
 こども 500円(中学生まで)
 えいせい425号で大人1,500円とお伝えしましたが値下げしました

昼食 焼きそば・フランクフルト・飲み物等準備します
 各自おにぎり程度持参ください

申し込み 支部書記局 FAX03-3349-1502
 申し込み締め切り日 8月7日(木)

病院の役割」と題して講演しました。

参加者からは、「八王子小児病院があつたから娘の命が助かった。なくなつてからの今後の緊急対応が心配」「障害児医療は今の八王子の中核病院では受け入れられないと言われている。府中まで行くのは不安がある」などの発言がありました。

八王子市の6月市議会の報告もあり、「市民の運動で市の方針に変化があつた。引き続き残す運動を強化し、小児医療を後退させないよう頑張りましょう」と確認し、会の結成と役員提案について拍手で承認されました。

「都庁9条の会発足の集い」へのお誘い

私たちは憲法の遵守を宣誓し都の職員になりました。憲法の守り手である私たちは憲法改悪の動きを黙って見てはられません。特に9条の改悪は戦後63年間誰一人戦争によって殺さなかった、殺されなかった日本を再び戦争へかり出すものであり決して許してはなりません。

9条を守るために全国で7000を越える9条の会が活動しています。「都庁9条の会」を結成するにあたり、発足の集いを開催する事になりました。当日は平和コンサートも予定しています。多くの方の賛同・御参加をお待ちしています。

日時 7月16日(水) 18:30~
 会場 第1本庁舎32階南 西洋フード
 参加費 2000円(支部が半分助成)

マイケル・ムーア最新作

シッコ SiCKO

府中 緊急上映!

8月1日(金) 府中グリーンプラザけやきホール

1回目上映 14:00~16:10 2回目上映19:00~21:10
 前売り 1,000円 当日1,200円
 組合員は支部が500円補助します。半券を支部にお持ちください。
 中・高校生500円 小学生以下無料

お問合せ(電話予約あり)
 042-364-6947(江連) 042-366-5357(奥田)

主催 映画『シッコSiCKO』府中上映実行委員会
 後援 府中市、社会福祉法人府中市社会福祉協議会

「シッコ」を観た組合員には年内に限り支部が500円補助します。どこで観たかは問いません。半券を支部にお届け下さい。

第10回保健所・公衆衛生を 考える全国研究交流会

職員・市民・研究者115人が集う

第10回保健所・公衆衛生を
考える全国研究交流会
が6月28日(土)・29日(日)
に名古屋市で行われ、衛生
局支部から6名、全国から
115名(延160名)が
集まり、学習交流しました。

記念講演・社会的なつなが
りが健康増進につながる

1日目は、平井寛氏(日
本福祉大学地域ケア研究推
進センター)が「介護予防
について考える」社会の絆
・ネットワーキングづくりの視
点から」と題して記念講演
を行いました。

平井氏は武豊町の「憩い
のサロン」の取り組みを紹
介し、いまのままの介護予
防では限界だとして、健康
増進及び地域の福祉力を上
げていくためには、住民・



行政の協働とそれぞれの中
でのつながりをつくること
が重要だと強調しました。
そして、社会的なつなが
りが豊かな地域は、健康増
進のみならず、犯罪の発生
率が低い、虐待が少ない、
出生率が高い、うつが少な
い、災害に強いことなどを
強調しました。

特別報告 過労死裁判から
見た日本社会

特別報告は、トヨタ過労
死裁判原告の内野博子さん
です。

トヨタ自動車工場で20
02年に急死した健一さん
の過労死訴訟で昨年11月、
名古屋地裁が労災適用を認
めました。

博子さんは「夫の頑張り
を認めてほしい」という一
心で裁判を闘ってきまし
た。妻の訴えは、日本企業
の「働かせ方」に見直しを
迫ることになりました。

健一さんは亡くなる1年
前から苦情処理係として連
続2交代勤務を行っていた
とされた。亡くなる1ヶ月前
の残業は144時間でした。
博子さんは言います。「な
ぜ、車を夜中に作らなけれ
ばならないのか。社長は環
境にやさしい車づくりと言
っています」と。

労災適用までの道のりは
険しいものでした。会社と
労働基準監督署は一体とな
り、組合も力にはなってい
ませんでした。

「はたらく者のいのちと
健康センター」に出会い、
弁護士をつけて05年提訴に
踏み切りました。判決は、
QC(品質管理)サークル
活動、創意工夫提案活動、
交通安全活動なども業務と
して認めさせる画期的なも
のでした。

博子さんは、トヨタに対
して人間らしく働けるよう
にしてほしい。労働者も家
族も、地域社会も大切にし
てほしいと言います。

交流会はこの他に、特
別講演として中学生日記の
ディレクターが今どきの中
学生の実像を語り、トーク
&トークと分散会では、今
公衆衛生に求められている
ことは何か」というテーマ
で討論を行いました。

健康の自己責任論が強ま
る中で、全体を通して語ら
れたのは、孤立ではなく
、つながる、ことの重要性
でした。公衆衛生活動は全
ての住民を対象とした活動
であり、参加した住民から
は、食の安全や感染症対策
など健康を守るための保健
所への期待の声が寄せられ
ました。

勤務時間の改善が健康保持と医療事故を防ぐためにも緊急の課題!

半数の医師が1ヶ月の残業時間80時間以上
身体の疲労は常に疲れている36%
8時間以上の勤務時の注意力低下はよくある63%

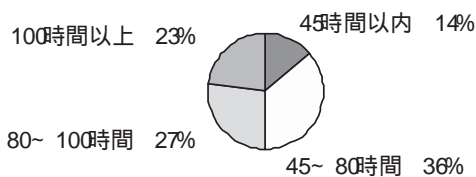
(府中病院における医師の勤務状況に関する府中病院分会アンケート調査結果)

府中病院分会は、医師の長時間労働の実態と疲労度・ストレス度合などに関してアンケート調査を行いました。医師の長時間労働は医師不足と重複して全国的に深刻な問題になってきています。医師本人の健康だけでなく、医療事故発生に大きく関わっていると指摘されています。
この調査で過酷な勤務と大きなストレスを抱え、退職をいつも考えつつ勤務している実態が明らかになりました。

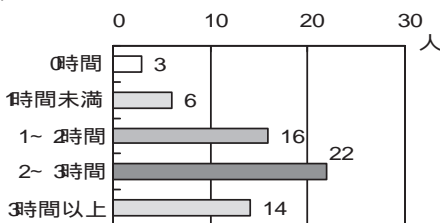
【調査方法】

府中病院の医師約250名にアンケートを依頼しました。調査期間は2008年3月～4月。68名から回答がありました。内訳は常勤医49名、非常勤医18名、研修医1名。
今回はアンケート結果について報告し、結果についての評価と改善案については次回に掲載します。

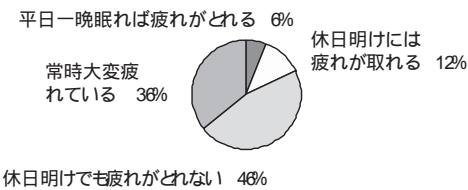
(2)一ヶ月の残業時間



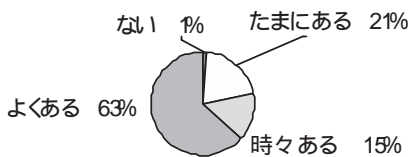
(3)最近の当直時の仮眠時間



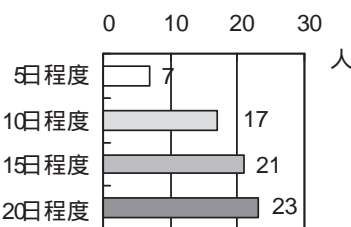
(4)身体の疲労度



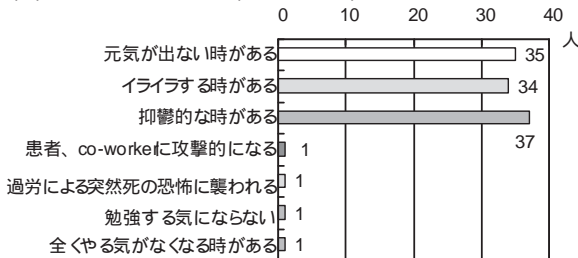
(5)8時間以上の長時間勤務時の注意力低下は



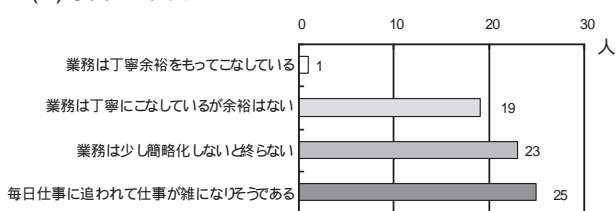
(6)どうしてもとりたい年休日数



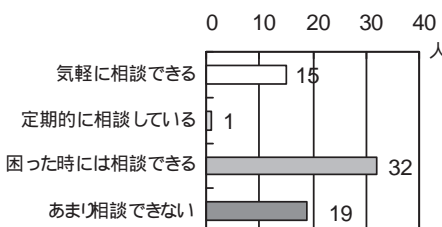
(7)精神的ストレス(複数回答)



(8)毎日の業務のゆとり



(9)業務上のことを職場内で気軽に相談できるか?



(10)府中病院で医師を続けたいか?

